

平成26年度社会適応訓練事業運営協議会 議事録

- 1 開催日時 平成27年3月19日(木) 10:00～11:30
- 2 開催場所 あいれふ 第3研修室
- 3 会議次第

- 1 開会
- 2 委員紹介
- 3 議事
 - (1) 平成26年度社会適応訓練事業実施状況について
 - (2) 平成27年度以降の社会適応訓練事業について
 - (3) 精神障がい者の就労支援について
- 4 質疑応答及び意見交換

- 4 出席者 委員 7名
事務局 7名
- 5 報道機関取材及び傍聴者
報道機関：無 傍聴者：無
- 6 議事要旨

事務局 委員	(議事1 平成26年度社会適応訓練事業実施状況について、説明) 平成18年度の障がい者自立支援法の改正で、就労移行支援などが活発になった。それに比して社会適応訓練事業は、期間が長くて利用しにくく活用の検討もうまくできなかった。雇用型も打ち出したが、利用に至るまでにはいかなかった。障がい者就労支援センターでも訓練事業の訓練生が集まらず苦慮していると聞いている。
事務局 委員	(議事2 平成27年度以降の社会適応訓練事業について、説明) 今年度、社会適応訓練事業所(職親)に対し、今後の社会適応訓練事業の方向性について説明を行ったところ、事業の終了についてはご理解をいただいた。また、今後の就労支援への協力については、経営上の問題などで難しいとの意見もあったが、2~3カ所の事業所からは、どのような形でもよいので今後も協力したいとの意見が聞かれている。 障がい者就労支援センターでは、サポーター企業として現在、70~80社から同意をいただいている。もし、その2~3カ所の事業所がサポーター企業になっていただければ訪問して説明することもできる。幅広い地域で色々な業種に登録していただきたい。
委員	地域活動支援センターの利用者で何名かは社会適応訓練事業で頑張った方もいる。最近では、A型事業所が増えているが継続できずに辞めてしまう方も多いようだ。
事務局 委員 事務局	(議事3 精神障がい者の就労支援について、説明) A型事業所の利用者の定着率はどのくらいか教えてほしい。 定着率のデータはないが、精神障がいの利用者は人間関係が原因で職場を変わる方が多い。
委員	今後も、継続して定着支援についても取り組んでほしい。 トータルサポーターについて、教えてほしい。
委員	(ハローワークより説明) 具体的には、カウンセリングや就職準備プログラム、同行紹介、職場実習、適切な支援機関の開拓・誘導、職場定着へ向けた支援、または、事業所への働きかけ等を実施している。
委員	就労系の事業者は増加しており、今後の在り方については課題が多い。 A型事業所の現状や経営母体について教えてほしい。
事務局	(障がい者在宅支援課より説明) ここ2~3年でA型事業所が急激に増えた。以前は社会福祉法人などが多かったが、今は、株式会社が多い。経営面では期待できるが、障がいに対する理解は不安な点もあるので、市内の事業所については、基準を満たしているか等、厳重に審査・指導を行っている。

委員	<p>雇用率の基準も上がるなかで、企業の就労への意識も向上している状況で、A型事業所に止まることは残念であり、A型事業所でトレーニングをしっかりともらい雇用につなげてほしい。就労継続や就労移行の事業所が増えたことで、この事業が終わるのならば、余計に事業所の質は向上させなければいけない。就労に関する窓口は明らかに広がっているが、正規の就労では休みの関係など規則もあるため、どこまでが本人の頑張り、どこからが企業が配慮すべきことなのか見極めも大切である。</p> <p>このような課題については、今後、障がい者保健福祉専門部会などで検討していただきたい。</p>
事務局	<p>本日は、多くのご意見をいただき、ありがとうございました。</p> <p>今後につきましても委員の皆様方には引き続きご協力の程、よろしくお願いたします。以上を持ちまして、福岡市社会適応訓練事業運営協議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。</p>